

【豊】とまと研修生が頑張っています！（神石高原町）

【平成 30 年 10 月 4 日掲載】

神石高原町では、平成 28 年度から「神石高原【豊】とまと新規就農者研修事業」を実施しています。

今年度は、2 期生（平成 29 年度生）の池田裕貴（いけだゆうき）さん、前原幸亮（まえはらこうすけ）さん、3 期生（平成 30 年度生）の榊井剛（ますいつよし）さん、寄定宏介（よりさだこうすけ）さんの 4 名が研修に取り組んでいます。

研修 1 年目の榊井さん、寄定さんは、株式会社神石高原農業公社の専門技術指導員の指導を受けて、基礎研修ガラス室でトマトの基本管理技術を習得しながら、一人当たり 2.5a の基礎研修ハウスを担当し、習得した技術を即実践することで技術研鑽を積んでいます。さらに、JA 広島中央会による座学研修、指導所職員による講義、実習を受講しています。

研修 2 年目の池田さん、前原さんは、一人当たり 10a の模擬研修ハウスを担当し、1 年目に習得した知識と技術を生かしながら、自らの判断で資材の購入、栽培、出荷をおこなう模擬経営研修に取り組んでいます。

今年度は、定植期（4 月下旬～5 月上旬）の低温に始まり、7 月の豪雨、梅雨明けからの猛暑と、トマトの栽培においては大変厳しい天候でした。研修生達は、「なかなか思うような樹勢や収量を確保できない。天候に左右されやすい農業の厳しさを体感している。」と話していました。

現在、池田さん、前原さんは、翌春の就農に向け準備を進めています。本研修で学んだ知識と経験を生かし、神石高原【豊】とまと生産出荷組合の一翼を担う生産者としての活躍が期待されています。



【2 期生の池田さん(左)と前原さん(右)】

【3 期生の榊井さん(左)と寄定さん(右)】